研究協力者の皆さまへ

「急性期一般病棟における身体拘束の要因と非代替性の認識・判断についての調査」
研究協力に関するお願い

研究の目的

急性期一般病棟の看護師が身体拘束を判断する際に、身体拘束の三要件における「非代替性」をどのように認識しているか、身体拘束に代わるどのような手段を検討し実施しているかを明らかにすることです。

研究の方法

Google form を用いて Web 上で調査を行います。記載した URL または QR コードから所定のページにアクセスしていただき、質問にお答えください。回答時間は 5 分程度を想定しています。研究期間中はいつでもアクセス可能ですので、ご回答いただけると幸いです。

研究期間は帯広厚生病院倫理審査委員会の審査を受けた後、承認日以降から3年とします。その期間までは研究成果の公表をする可能性があります。

研究協力は自由です(協力の任意性)

研究の協力は自由です。協力しないことで不利益が生じることはありません。ただし無記名の調査であるため、一度ご回答いただくと、その後撤回することができなくなりますのでご了承ください。

研究について知りたい場合(研究計画等の開示)

研究協力者様からのご希望があれば、研究計画や研究結果についてお伝えできます。連絡先までお問い合わせください。

研究協力に伴う負担について(予測される負担、危険性)

質問の内容は身体拘束にかかわる業務内容について伺うものであり、大きな負担はないものと考えております。万一負担を感じた場合は、途中で回答を中止してください。

個人情報の保護について

本研究は無記名の調査ですので、どなたが研究対象になっているか分かることはありません。この情報は本研究以外には使用しません。

研究中に得られた情報は、セキュリティが確保されたコンピューターまたはパスワードを用いた電子媒体で厳重に管理します。電子媒体およびデータを印刷したものは鍵のかかるロッカーで保管します。調査結果と分析データは、研究担当者以外に知られることはありません。研究終了後に研究責任者が責任を持って破棄いたします。

裏面あります→

研究の発表について（調査結果の公表）

調査結果は、個人が特定できないようにした上で、学会で公表させていただきます。

この研究の費用について（研究費、利益相反、及び対象者への経済的負担に関する事項）

本研究に関する資金提供は受けておらず、利益相反はありません。質問内容による影響で身体的・精神的不調をきたす事態は想定しておりません。Web 上の調査であり、インターネット環境によっては回答の際に通信費が発生する場合があります。この場合の通信費は研究協力者様の自己負担となりますのでご了承ください。

以上、研究の目的をご理解いただき、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。ご不明な点はいつでもお問い合わせください。

調査期間は 2026 年〇月〇日までです。

【ご回答はこちらからお願いいたします】
https://docs.google.com/forms/d/1NCcIMFoZYrT8VEd3ewSZP-CM59F1ktepMDrmtCqRyJs/edit

〈研究責任者〉
山本　幸子
080-0024　北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1
JA 北海道厚生連帯広厚生病院　5 西病棟
TEL：0155-65-0101　内線 4477（スマートフォン）　4531（5 西病棟）
E-mail：s.yamamoto@ja-hokkaidoukouseiren.or.jp

裏面あります→